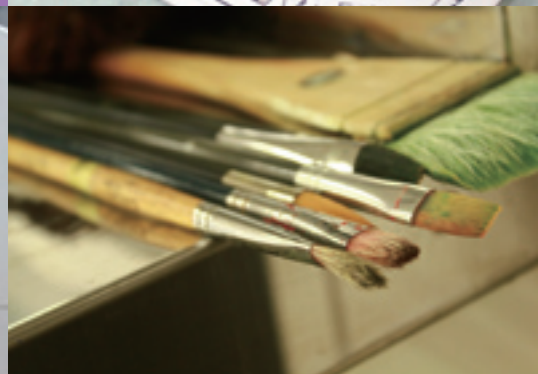
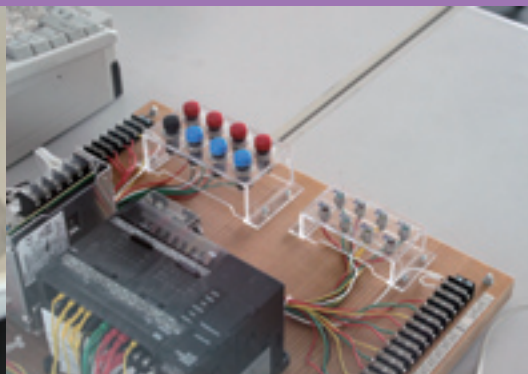




# 目指せ!! 理系のスペシャリスト



2021 学校案内 第16期生募集



SHIZUOKA PREFECTURAL HIGH SCHOOL OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

静岡県立科学技術高等学校

## 開校から13年

### 理系高校としての着実な歩み

理系のスペシャリストを育成するために、平成20年に創られた理数科と工業科をもつ新しいタイプの学校です。**創造力の育成、課題解決能力の育成、人間力の育成**を三つの柱とし、日本の未来を創ることができる「ほんものの力」をつけることを教育方針としています。そのため、実験・実習を通して培われる理系の本物の感性を育てることを大切にしました。

工業科はさらに専門性の高い小学科を設置し、県内の科学技術者の養成のみならず、グローバルな感覚をもった世界で活躍できるスペシャリストの育成を目指しています。

## 高い進学実績

### 全国公立工業系高校 トップクラス

本校は専門高校でありながら高い進学実績を残しています。理数科はほぼ全員が進学します。令和元年度は、国公立大学に、理数科18名、工業科29名が現役で合格しました。国公立大学47名は、全国の工業系の公立高校ではトップクラスです。地元静岡大学には工学部を中心に毎年多くの生徒が合格しています。

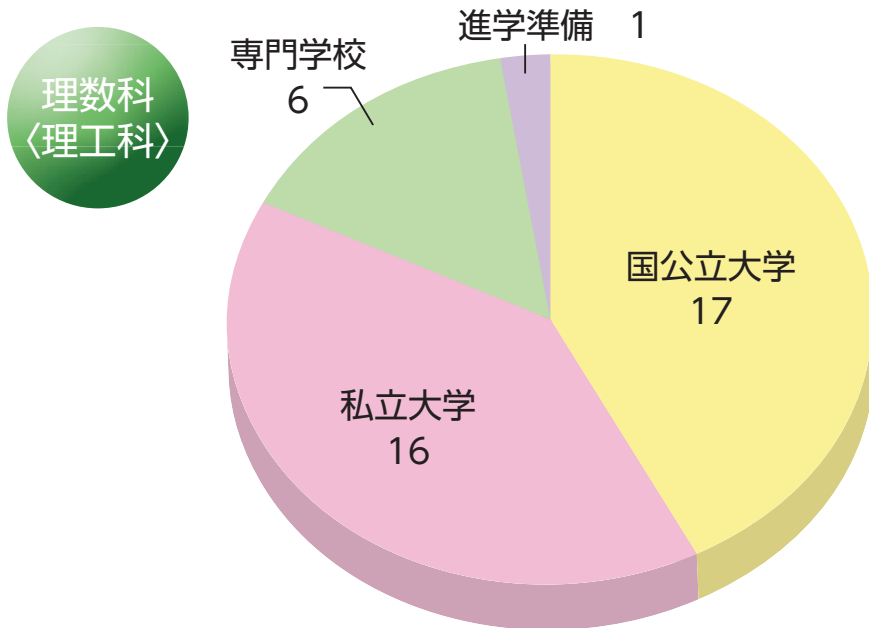
## 就職率は100%

### 公務員にも多数合格

就職希望者に対する求人は、過去3年間5倍を下回ったことはなく、多くの企業が本校に期待してくださっています。したがって、開校以来就職率は100%です。また、公務員には国土交通省や静岡市役所を筆頭に19名が就職しています。



## あなたの希望の進路をかなえる



## 令和元年度 卒業生の声



静岡大学 人文社会科学部経済学科  
長谷蒼羽さん  
(理数科卒・藤枝市立岡部中学校出身)

理数科では、毎日の7時間授業に加え、補講や模試があります。私が所属したバドミントン部では毎日の朝練習もありました。部活動を通して、かけがえのない仲間ができ、多忙な日々ではありましたが充実感は大きかったと思います。文武両道という目標を達成するためには、毎日の授業をしっかり受けることが一番大切だと考えました。先生方の指導のもと、後期まで粘り強く努力し、合格することが出来ました。高校では、自分の視野を広げることで、充実した3年間を送ることができました。

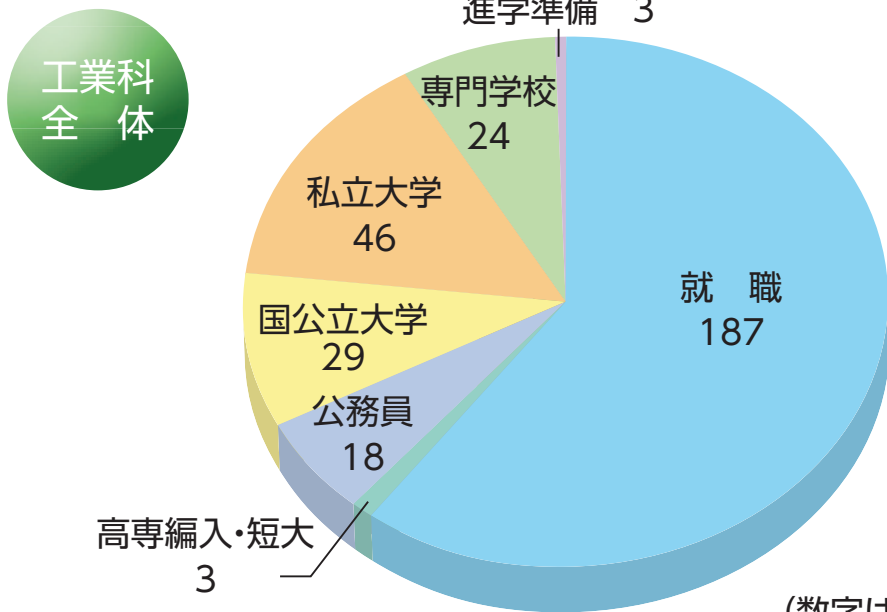


## 恵まれた環境 充実の設備 もちろん空調も！

広大な敷地に、5階建ての普通教室棟・3階建ての実習棟が2棟、全面人工芝のグラウンド、全天候のテニスコート、50mプールなど、施設は全国屈指の充実ぶりです。

また、工業専門高校ならではの設備（電子顕微鏡や高額な実習装置）も大変充実しています。教室には空調設備もあり、快適な環境で学習することができます。その充実ぶりは全国的に見ても珍しく、他県からの見学者が絶えません。

## 進学・就職 令和元年度進路実績



## 万全な 学力向上対策 毎日7時間授業

より高度で専門的な学習を行うためには普通教科の基礎学力も大切です。また、実験や実習を行うためには時間が必要です。そのため、本校は開校以来1日7時間の授業を行っています。1年間で履修する単位が35単位、3年間で105単位の履修を行う公立高校は、県内でも本校だけです。

「人々が安全で快適に暮らせるまちづくりをしたい」そんな思いから、都市基盤工学科へ入学しました。まちづくりに関する多くの知識や技術を積んでいきたいと考え、様々な資格の取得、放課後の生徒会活動なども積極的に取り組みました。高校生ものづくりコンテストへの出場や東日本大震災の被災地訪問などの経験もすることができました。特に、全国から集まった高校生と丸2日間、防災について議論した「ハイスクールサミット」は貴重な経験でした。人間的に大きく成長に導いてくれる環境がここにあります。



富士市役所 上下水道部水道工務課  
川口晃輝さん  
(都市基盤工学科卒・富士市立岳陽中学校出身)

高校3年間、実習や課題研究を通して、ガラス器具の扱いや機器の操作方法など化学実験に必要なことを多く学びました。さらに、資格取得や検定にも挑戦することで、より専門性を高めてきました。また、ボランティア活動やナース体験に参加し、多様な価値観やコミュニケーション能力を身につけることができ、よい経験となりました。部活動や学校行事で様々な学科の人と関わり、とても充実した高校生活を送ることができました。



静岡県立大学 看護学部看護学科  
石上莉杏さん  
(物質工学科卒・静岡市立豊田中学校出身)

# 令和3年度入学生から 科学技術高校は 進化します！

## ポイント1

Ⅱ類の「くくり募集」をやめ、  
**全科単独募集**になります。

## ポイント2

電子工学科と物質工学科を発展的に統合し、  
新しく**電子物質工学科**を設置します。

《令和2年度入学生まで》

**D** 電子工学科  
[Electronics Engineering]

**B** 物質工学科  
[Material Engineering]

統合

《令和3年度入学生から》

**S** 電子物質工学科  
[Electronic Substance Engineering]

新設

## 電子物質工学科

『電子工学』と『材料化学』の基礎を学び、卒業後は「新素材や新技術の開発」や「エネルギー産業」・「自動車産業」・「電気電子産業」で活躍できる人材を育てます。



カメラを使い、良品・不良品をAIで判断し、ロボットハンドが分別する新技術



電子顕微鏡を使って素材の研究

## 理数科

**R**

科学の芽を育てます

**理工科**

[Science and Technology]

学びたいテーマ、きっとある！

## 工業科

**M**

ものづくりの技術が  
未来をつくる

**機械工学科**

[Mechanical Engineering]

**F**

いま  
現在を支える  
最先端のロボット技術

**ロボット工学科**

[Robot Engineering]

**E**

目指せ！電気  
のスペシャリスト

**電気工学科**

[Electrics Engineering]

**J**

目指せ！未来の  
ICTエンジニア

**情報システム科**

[Information System]

**A**

目指せ！住まいと暮らしの  
クリエイター

**建築デザイン科**

[Architecture Design]

**U**

社会基盤をつくり  
守るシビルエンジニア

**都市基盤工学科**

[Urban Infrastructure]

新設

**S**

**電子物質工学科**

[Electronic Substance Engineering]

募集停止

**D**

**電子工学科**

[Electronics Engineering]

募集停止

**B**

夢をかなえる物質を求めて

**物質工学科**

[Material Engineering]